「か」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「か」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 49

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「か」で始まる語彙辞典（メジャー）

かい - あ・げる【買（い）上げる】
［動ガ下一］［文］かひあ・ぐ［ガ下二］
官公庁などが民間から物を買い取る。「農地を―・げる」⇔払い下げる。

かい - あん【改案】
［名］（スル）
案を改めること。また、改めた案。「―して、再度上程する」

かい - い【介意】
［名］（スル）
（あとに打消しの意の言葉を伴って用いる）気にかけること。心配すること。「将来のことは一向に―しない」

かい - いん【会飲】
［名］（スル）
会合して酒を飲むこと。「クラスの仲間と―する」

かい - う・ける【買（い）受ける】
［動カ下一］［文］かひう・く［カ下二］
売ろうとしている他人の所有物や権利などを買って手に入れる。買い取る。「別荘を安く―・ける」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かい - うめ【買（い）埋め】
不足した分だけ買って補っておくこと。「使っただけ―をしておく」

かい - きゅう【懐旧】
昔のことを、なつかしく思い出すこと。懐古。「―の念」「―談」

かい - きょう【懐郷】
故郷をなつかしく思うこと。望郷。「―の情にひたる」

かい - げん【改元】
［名］（スル）
年号を改めること。改号。「昭和を―して平成となった」

かい - こう【改稿】
［名］（スル）
一度書き上げた原稿を書きなおすこと。「掲載した論文を―する」

かい - こん【開梱】
［名］（スル）
梱包された荷物を開くこと。「輸入品の―検査」

かい - こん【開墾】
［名］（スル）
山野を切り開いて農耕できる田畑にすること。「原野を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かい - ご【悔悟】
［名］（スル）
自分のした事の悪かったことを認めて後悔すること。「前非を―する」

かい - ご【解悟】
［名］（スル）
悟ること。気がつくこと。「書をひもとき―する」

かい - さい【快哉】
《「快なる哉（かな）」の意から》
ああ愉快だと思うこと。胸がすくこと。「―を叫ぶ」

かい - さく【快作】
鑑賞する者が感動するような、すぐれた作品。「映画界ひさびさの―」

かい - さく【開削】
［名］（スル）
土地を切り開いて道路や運河などを通すこと。「新道を―する」

かいさん - かぜ【解散風】
解散しそうな雰囲気。特に、衆議院が解散しそうな政界の動きを風にたとえた語。「―が吹く」「―をあおる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かい - ざい【介在】
［名］（スル）
二つのものの間にはさまってあること。両者の間に存在すること。「二国間に―する難問題」

かい - し〔クワイ - 〕【怪死】
［名］（スル）
死因に疑いのある死に方をすること。「―を遂げる」「山中で―する」

かい - しゅう【改宗】
［名］（スル）
今まで信じていた宗教や宗派を捨てて他の信仰に入ること。宗旨変え。

かい - しょう【快勝】
［名］（スル）
あざやかに、またはあっさりと、気持ちよく勝つこと。「大差で―する」

かい - しょう【改称】
［名］（スル）
名前や呼び名を変えること。改名。「社名を―する」

かい - しょく【快食】
体調がよく、食事が進むこと。おいしく食事をすること。「―快便」

かい - しん【会心】
心にかなうこと。期待どおりにいって満足すること。「―の笑みを浮かべる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かい - しん【戒心】
［名］（スル）
油断しないこと。よく用心すること。「―を怠らない」

かい - じ【快事】
気分がすっきりするような出来事。痛快な事柄。「近来の―」

かい - じゅう【晦渋】
［名・形動］
言葉や文章がむずかしく意味がわかりにくいこと。また、そのさま。難解。「―な文章」

灰燼（かいじん）に帰（き）・す
跡形もなくすっかり焼けてしまう。灰燼と化す。「重要な文化財が―・した」

かい - せい【改姓】
［名］（スル）
姓を変えること。また、その変えた姓。「結婚して―する」

かい - ぜつ〔クワイ -〕【快絶】
［名・形動］
非常に爽快（そうかい）な気分であること。また、そのさま。「―の極」

かい - そう【会葬】
［名］（スル）
葬式に参列して、弔意を表すこと。「会の代表として―する」「―御礼」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かい - そう〔クワイ - 〕【回送】
［名］（スル）
① 一度送られてきたものを、改めて他の場所に送ること。転送。「郵便物を移転先に―する」
② 電車やバスなどを、空車で他の場所へ動かすこと。「車庫へ―する」

かい - そう【快走】
［名］（スル）
気持ちがよいほど速く走ること。「追い風を受けてヨットが―する」

かい - そく【快足】
きわめて足の速いこと。また、速く走れる足。「―を飛ばす」「―ランナー」

かいぞう - かん【解像感】
写真や画像のきめの細かさを表す言葉。「―が良い」

かい - たた・く【買い叩く】
［動カ五（四）］
不当に値引きさせて買う。売る側の事情につけいって、ふつうでは考えられないほど安く値切って買う。「足もとを見て―・く」

かい - た・てる【買（い）立てる】
［動タ下一］［文］かひた・つ［タ下二］
むやみに買い込む。どんどん買い入れる。「出物を端から―・てる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かい - だい【改題】
［名］（スル）
題名を変えること。「時流に合わせて書名を―する」

かい - だく【快諾】
［名］（スル）
依頼や申し入れを快く承諾すること。「資金の援助を―する」

かい - だん【快談】
［名］（スル）
互いに気持ちよく楽しく話し合うこと。また、その話。「旧友と―する」

かい - だん【解団】
［名］（スル）
団体の組織を解散すること。「任務を終えて調査団を―する」⇔結団。

かい - だんじ【快男児】
性質がさっぱりした気持ちのよい男。快活で男らしい男。好漢。快男子。

かい - ちゅう【改鋳】
［名］（スル）
鋳造しなおすこと。鋳(い)なおすこと。「釣鐘を―する」

かい - ちょう【開張】
［名］（スル）
大きく広がること。大きく広げること。「樹冠が―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かい - ちん【開陳】
［名］（スル）
人の前で自分の心の中をありのままに述べること。「所信を―する」

かい - つ・ける【買（い）付ける】
［動カ下一］［文］かひつ・く［カ下二］
① ふだんからよく買っている。買い慣れている。「いつも―・けている銘柄」
② 大量に買い込む。買い入れる。「原料を―・ける」

かい - てい【改定】
［名］（スル）
法律・制度など以前のものを改めて新しく定めること。「条約を―する」「運賃―」

かい - てい【改訂】
［名］（スル）
書物の内容を改め正すこと。「旧版を―する」「―版」

かいどう - すじ【街道筋】
街道の道筋。「―の民家」

かい - どく【会読】
［名］（スル）
数人が集まって、同じ書物を読み合って、その内容や意味を研究し、論じ合うこと。「原書を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かい - のう【皆納】
［名］（スル）
租税などを、残らず納めること。「年内に税金を―する」

かい - はい【改廃】
［名］（スル）
法律や規則などを改正したり、廃止したりすること。「法令を―する」

かい - はい【潰敗】
［名］（スル）
くずれてばらばらになること。「敵軍を―させる」

かい - はい【壊廃】
［名］（スル）
こわれて役に立たなくなること。「都市機能が―する」

かい - ひょう【開票】
［名］（スル）
投票箱を開いて、投票の結果を調べること。「即日に―する」「―速報」

かい - び【快美】
［名・形動］
この上もなくこころよいこと。また、そのさま。「―な旋律」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かい - ふく【快復】
［名］（スル）
病気がなおること。「傷が―する」「―期」

かい - ほう【快方】
病気や傷がだんだん治ってくること。「病状が―に向かう」

かい - ま・ける【買（い）負ける】
［動カ下一］
より高い買い値を付けた業者に負けて買い付けられない。「水産物の国際市場で日本が新興国に―・ける」

かい - ゆう【回遊】
［名］（スル）
①（回遊）あちこちを遊覧して回ること。「北海道を―する」
② 魚類や鯨などが定期的に海洋を索餌（さくじ）・産卵のため、あるいは適水温を求めて季節の移り変わりに応じて移動・往復すること。「サケが―する季節」

かい - れい【瑰麗】
［形動］［文］［ナリ］
すぐれて美しいさま。あまり例がないほど、きれいなさま。「教会の―なステンドグラス」

かい - わん【怪腕】
並外れてすぐれた腕力・手腕。「―をふるう」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

か - うん【家運】
一家の運命。「―を盛り返す」

返(かえ)す刀
あるものを攻撃した余勢をかって、間を置かずに他に攻撃の矛先を転じること。返し刀(がたな)。「政府を攻撃した―で与党を非難する」

かえらぬ - たび【帰らぬ旅】
［連語］
死んであの世へ行くこと。死出(しで)の旅。「―に赴く」

かえらぬ - むかし【帰らぬ昔】
［連語］
再び帰ってくることのない過去。

かお - うつり【顔映り】
着ている衣服や化粧品の色合いが反映された顔の感じ。「―がよくなる洋服を選ぶ」「肌が明るく見えて―がぐんと引き立つ」

顔(かお)から火が・出る
恥ずかしくて顔が真っ赤になる。「人前で大失敗を演じ―・出る思いがした」

顔(かお)が揃(そろ)・う
出席するはずの人が全員出てくる。「候補者の―・う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かお - きき【顔利き】
ある地域や仲間の間で、力や信望のあること。また、その人。「町内の―」

かお - くせ【顔癖】
顔の表情に表れる持ち癖。小鼻を膨らませたり、口をゆがめたりするなど。

かお - つなぎ【顔繋ぎ】
［名］（スル）
① 人に忘れられないように、折に触れて訪問すること。
② 間に立って、知らない人同士をひきあわせること。「有力者に―をしてもらう」

顔(かお)に紅葉(もみじ)を散ら・す
若い女性などが、恥ずかしがって顔を赤くする。

顔(かお)を曇ら・せる
表情を暗くする。

顔(かお)を振(ふ)・る
首を横に振る。不承知の意を表す動作。

か - おん【家恩】
家から受ける恩恵。「―を受ける」

かき - あじ【書（き）味】
筆記用具の書くときの感じ。ペン先などの滑りぐあい。「書味のよい―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かき - おこ・す【掻き起（こ）す】
［動サ五（四）］
火ばしなどでかいておこす。「炭火を―・す」

かき - おさ・める【書（き）納める】
［動マ下一］［文］かきをさ・む［マ下二］
最後まで残りなく書く。書きおえる。「連載小説を―・める」

かき - おと・す【書（き）落（と）す】
［動サ五（四）］書くべき事柄を忘れる。「表書きに住所を―・す」

かき - きず【掻き傷】
つめやとがった物で、ひっかいて生じる傷。「―の絶えない子供」

かき - くど・く【掻き口説く】
［動カ五（四）］
自分の心境を訴えたり、相手を説得したりするため、くどくどと繰り返し述べたてる。「子に先立たれた老いの身を―・く」

かき - さ・す【書き止す】
［動サ五（四）］
書くことを途中でやめる。「―・したままの原稿」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かき - なが・す【書（き）流す】
［動サ五（四）］
筆に任せてさらさらと書く。文章をあまり深く考えずに、ざっと書く。「いいかげんに―・した文章」

かき - なぐ・る【書（き）殴る】
［動ラ五（四）］
乱暴に書く。なぐり書きする。「―・った原稿」

かきゅう - てき【可及的】
［副］
及ぶかぎり。できるだけ。「―速やかに処理したい」

垣(かき)を作・る
① 多くの人が、垣根のように周囲を取り巻いたり、立ち並んだりする。人垣をつくる。「ファンが―・った」
② 両者の間に隔てをつくる。「意見の相違が二人の間に―・った」

か - ぎゃく【加虐】
むごいしうちを加えること。いじめ苦しめること。「―性愛」「―趣味」⇔被虐。

かく - い【隔意】
心にへだたりのある思い。打ち解けない心。遠慮。「―なく意見を出し合う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かく - いつ【画一】
個々の事情や個性を考慮に入れないで、すべてを一様にそろえること。「―主義」「―化」

かくいつ - てき【画一的】
［形動］
何もかも一様で、個性や特徴のないさま。「―な教育」

かく - げん【確言】
［名］（スル）
はっきりと言いきること。また、その言葉。「―することを避ける」

かく - さく【画策】
［名］（スル）
はかりごとをめぐらすこと。ひそかに計画を立てること。また、その計画。「陰であれこれ―する」

かく - し【客死】
［名］（スル）
旅先で、または他国で死ぬこと。きゃくし。「異境に―する」

かく - しゅ【確守】
［名］（スル）
固く守ること。「命令を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かくじつ - し【確実視】
［名］（スル）
確かにそうなるだろうと思うこと。「与党の過半数割れは―されている」

かく・する【画する】
［動サ変］［文］
① 線を引く。
② 物事をはっきり分ける。区分する。「一線を―・する」「新時代を―・する事件」
③ 計画を立てる。企てる。図る。「会社乗っ取りを―・する」

かくせい - の - かん【隔世の感】
変化が激しく、まるで世代が変わってしまったような感じ。「―を禁じ得ない」

かく - ぜつ【隔絶】
［名］（スル）
かけ離れていること。遠くへだたっていること。「社会から―した存在」

かく - ぜん【画然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
区別がはっきりとしているさま。「―とした違い」「―たる区別」

かく - てい【画定】
［名］（スル）
区切りなどをはっきり決めること。「境界を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かく - とう【確答】
［名］（スル）
はっきりと答えること。また、たしかな返事。「―を避ける」

かく - ふく【拡幅】
［名］（スル）
道路の幅を広くすること。「国道を―する」

かく - やく【確約】
［名］（スル）
はっきりと約束すること。また、その約束。「返済期日を―する」

かく - よう【各様】
それぞれに違ったようすであること。さまざま。「各人―の意見」

隠(かく)れもな・い
広く世間に知れ渡っている。有名である。「法を侵しているのは―・い事実」

かけ - がい【掛（け）買い】
［名］（スル）
代金を後日支払う約束で品物を買うこと。かけ。⇔掛け売り。

かけ - づめ【駆（け）詰め】
休むことなく駆け続けること。かけどおし。「―に駆ける」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かけ - へだて【懸（け）隔て】
両者の間に気持ちの上でのへだたりがあること。「―のない付き合い」

かけ - へだ・てる【懸（け）隔てる】
［動タ下一］［文］かけへだ・つ［タ下二］
遠く間を隔てる。大きく差をつける。「立場の違いが両者の意見を―・ている」

影(かげ)が射(さ)・す
① 姿や影法師がちらっと見える。また、そこに現れる。「うわさをすれば―・す」
② よくないことなどが起こりそうな気配がする。物事の先行が怪しくなる。「戦争の―・す」

陰(かげ)になり日向(ひなた)になり
ある時は裏面から、またある時は表面に立って、さまざまに援助すること。陰に陽に。「―守ってくれた恩人」

影(かげ)の形に添うよう
影が必ず物に添うように、いつも連れ添って離れないこと。
影と添う。影身に添う。影の形に随(したが)うが如(ごと)し。

影身(かげみ)に添・う
影のようにいつも離れず付き添う。影と添う。「―・って世話をする」

か - げん【華言】
表面だけを美しく飾っている言葉。実のない言葉。「―を吐く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

か - こく【苛酷】
［形動］［文］［ナリ］
きわめてむごいさま。扱い方などが厳しくて容赦ないさま。無慈悲。「―な労働」「―なレース」

過去(かこ)の物(もの)にな・る
一時はもてはやされたが、今となっては過ぎ去ったこととして関心をもたれなくなる。「栄光も―・った」

か - こん【禍根】
わざわいの起こるもとや原因。「―を残す」「―を断つ」

籠(かご)で水(みず)を汲(く)・む
ほねをおっても効果のないことのたとえ。

かさ - だか・い【嵩高い】
［形］［文］かさだか・し［ク］
① 物の分量や体積・容積が大きい。かさばっている。「―・い荷物」
② 人を見くだして横柄な態度である。高圧的である。「―・い物言いをする」

嵩(かさ)に懸か・る
① 優勢に乗じて攻めかかる。「―・って攻撃する」
② 優位の地位・立場をいいことにして相手を威圧する。「―・って命令する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

笠(かさ)に◦着る
権勢のある後援者などを頼みにしたり、自分に保障されている地位を利用したりしていばる。また、自分の施した恩徳をいいことにして勝手なことをする。「権力を―◦着る」

風下(かざしも)に立・つ
他に後れをとる。劣位にいる。「後輩の―・つ」

かざ‐びえ【風冷え】
強い風が吹きつけて冷えること。また、そのような寒さ。「風冷えの日」

風向(かざむ)きが悪・い
① 形勢が不利である。「話の―・くなる」
② 人の機嫌が悪い。「今日は部長の―・い」

か‐しゃく【呵責】
［名］(スル)
厳しくとがめてしかること。責めさいなむこと。かせき。「良心の―に苦しむ」

か‐しょう【過少】
［形動］［文］［ナリ］
少なすぎるさま。「人口が―な地域」⇔過多。

か‐しょう【寡少】
［形動］［文］［ナリ］
非常に少ないさま。ごくわずか。「―な人員」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

河岸(かし)を変・える
飲食・遊びや稼ぎなどの場所を変える。「―・えて飲み直す」

か - しん【禍心】
他人に災いを加えようとする心。害心。「―を抱く」

かじょう - はんのう【過剰反応】
ある物事に対し、必要以上にはなはだしく反応すること。「―を起こす」

数(かず)を頼(たの)・む
人数の多さをたよりにして事を運ぶ。多数派がその意見などを押し通す。「―・んで強行採決する」

か - せい【火勢】
火の燃える勢い。「―が衰える」

か - ぜつ【佳絶】
［名・形動］
この上なくよいこと。すばらしいこと。また、そのさま。絶佳。「風光―」

風(かぜ)を食ら・う
事態を察知する。感づいて、あわてて逃げる。「―・って逃げる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かぞえ - た・てる【数え立てる】
［動タ下一］［文］かぞへた・つ［タ下二］
一つ一つ数える。列挙する。多く、よくないことについていう。「欠点を―・てる」

かた - うらみ【片恨み】
［名］（スル）
一方だけが恨みに思うこと。一方的な恨み。「―されるとは心外だ」

かた - ぎき【片効き】
効果・効力が片寄ること。「ブレーキが―で事故を起こす」

かた - ちんば【片跛】
［名・形動］
① 対であるべきものがそろっていないこと。また、そのさま。「靴を―に履く」
② 片方の足が不自由なこと。また、そのさま。

かた - ておち【片手落ち】
［名・形動］
配慮や注意が一方にだけかたより、判断などの不公平なこと。また、そのさま。偏頗(へんぱ)。「―な（の）処置」

肩(かた)で息を・する
苦しそうに、肩を上げ下げして呼吸をする。「ゴールインした選手が―・している」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

刀(かたな)折れ矢尽・きる
《「後漢書」段熲伝から》
戦う手段をすっかり使い果たす。また、物事に立ち向かう手段がなくなる。弓折れ矢尽きる。「努力も空しく―・きて倒産した」

型(かた)の如(ごと)く
慣例どおりに。「―来賓のあいさつがある」

かた‐ばたらき【片働き】
夫婦のどちらか一方だけが働いて生計を立てること。「―世帯」→共働き

肩身(かたみ)が広・い
世間に対して面目が立ち、得意である。「兄が賞をとって弟の私まで―・い」

語(かた)るに落・ちる
《「問うに落ちず語るに落ちる」の略》
問い詰められるとなかなか言わないが、かってに話させるとうっかり秘密をしゃべってしまう。

語(かた)るに足・る
語るだけの値うちがある。また、語る相手としてふさわしい。「人生を―・る友人」

肩(かた)を怒(いか)ら・せる
肩を高く張って、威勢を示す。また、威圧するような態度を示す。「―・せて歩く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かだい - し【過大視】
［名］（スル）
物事を実際以上に大きく見ること。また、必要以上に重大に考えること。「能力を―する」

か - だん【果断】
［名・形動］
物事を思いきって行うこと。決断力のあること。また、そのさま。「―な処置」「積極―」

勝(か)ち馬(うま)に乗・る
有利な方につく。勝った方に味方して便乗する。勝負事に勝った人、事業などで成功した者、力のある人の側について恩恵を受ける。「派閥の力関係を見極めて―・る」

かち - み【勝（ち）味】
勝てる見込み。勝つ可能性。勝ち目。「―が薄い」

火中(かちゅう)の栗(くり)を拾う
《猿におだてられた猫が、いろりの中の栗を拾って大やけどをしたという、ラ - フォンテーヌの寓話(ぐうわ)から》
自分の利益にならないのに、他人のために危険を冒すたとえ。

かちょう - ふうげつ【花鳥風月】
① 自然の美しい風物。「―を友とする」
② 風雅な趣を楽しむこと。風流韻事。風流。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

勝(か)ちを制・する
勝利を自分のものとする。勝利を決める。「首尾よく―・する」

括弧(かっこ)に入(い)・れる
不確かなものとして扱う。未解決の問題を保留にする。「予算については一度―・れて考えよう」

かっこ - ふばつ【確固不抜】
［名・形動］
意志が固く、動揺しないこと。また、そのさま。「―な精神」

かっさつ - じざい【活殺自在】
生かすも殺すも思いのままであること。相手を思うままに扱うこと。

かっ - しゃ【活写】
［名］（スル）
物事のありさまを生き生きと描き出すこと。「現代社会を―する」

かっ - たく【滑沢】
［名・形動］
なめらかでつやがあること。また、そのさま。「―な木肌」

かっ - ぷく【恰幅】
肉づきや押し出しから見た、からだの格好や姿。からだつき。「―のいい紳士」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かつ - かつ
［副］
① ある状態をかろうじて保っているさま。「―の生活をする」
② 限度いっぱいで余裕のないさま。ぎりぎり。「開演に―間に合った」

かつ - ごう【渇仰】
［名］（スル）
《渇いた者が水を切望するように、仏を仰ぎ慕う意》
① 深く仏を信じること。「随喜―の念」
② 心からあこがれ慕うこと。「恩人を―してやまない」

かつ - ぜん【豁然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 視野が大きく開けるさま。「―として眼下に眺望が広がる」
② 心の迷いや疑いが消えるさま。「―として悟る」

かつ - だつ【滑脱】
［名・形動］
よどみなく自由自在に変化・順応すること。また、そのさま。「円転―」

かつ - らく【滑落】
［名］（スル）
登山の際に足を踏み外したりして、急斜面を滑り落ちること。「―事故」

か - とう【可撓
曲げたわめることができること。「―性」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かと - てき【過渡的】
［形動］
ある状態から新しい状態に移る途中であるさま。「法改正前の―な措置」

かどう - いき【可動域】
動かすことができる範囲。「関節の―が狭い」

かどかど - し・い【角角しい】
［形］［文］かどかど・し［シク］
① 言動や性格が角立って、おだやかでない。「物の言い方に―・しいところがある」
② 物が角立っている。角が多い。

角(かど)が立・つ
理屈っぽい言動によって他人との間が穏やかでなくなる。「―・つ言い方をする」

角(かど)が取・れる
世慣れて性格が円満になる。人柄がまるくなる。「苦労をして―・れた」

かど - だ・つ【角立つ】
［動タ五（四)］
① 角ばっている。かどばる。「―・っている石」
② 事が円満を欠き、とげとげしいようすになる。「そういう態度では話が―・つ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かど - だ・てる【角立てる】
［動タ下一］［文］かどだ・つ［タ下二］
① 角をとがらせる。かどばらせる。「目を―・てて話す」
② 人の感情を刺激する言動をとる。かどをたてる。「事を―・てるようなやり方」

かど - ば・る【角張る】
［動ラ五（四）］
① 角が出っ張っていて、ごつごつする。「―・った顔」
② 態度や言葉遣いが窮屈な感じを与える。四角ばる。「―・ったあいさつは抜きにして」

かな - くさ・い【金臭い】
［形］［文］かなくさ・し［ク］
鉄分のにおいや味がする。「―・い水」

かな - こおり【金氷】
非常に冷たくて氷のような感じのするもの。「手足が―になる」

仮名（かな）に言（い）・う
《仮名は漢字に比べて平易なことから》
平易にやわらげて言う。分かりやすく言う。

かね - あ・う【兼（ね）合う】
［動ワ五（ハ四）］
両方がうまくつりあう。「需要と供給がうまく―・う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

金(かね)が物を言・う
物事を行うのに金銭の力が大きいことのたとえ。「―・う世の中」

かねくい - むし【金食い虫】
費用ばかりかかって利益を上げないことをののしっていう語。

かね - ぐり【金繰り】
金銭のやりくり。資金の調達。かなぐり。「―に困る」「―がつかない」

鉦(かね)太鼓で探・す
《迷子を探すときに、鉦や太鼓を打ち鳴らしたところから》
大ぜいで大騒ぎをして方々を探し回る。鉦や太鼓で探す。「嫁さんなんて―・したって見つかるものではない」

かね - づまり【金詰（ま）り】
金銭のやりくりがつかなくなること。資金が欠乏すること。

金(かね)に飽か・す
ある事をするのに金銭を惜しまないで使う。「―・してしつらえた豪華な調度品」

金(かね)の鎖(くさり)も引けば切れる
① 意志の強い人でも誘惑に負けることがあるというたとえ。
② 努力すれば、何でもできないことはないというたとえ。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

金(かね)の草鞋(わらじ)で尋・ねる
《いくら歩いても擦り切れない鉄製のわらじを履いて探す意から》
辛抱強く探し回って歩く。得難い物事のたとえにいう。金の草鞋で探す。「―・ねても二人とない好人物」

かね - ばなれ【金離れ】
金銭の使いぶり。「―がいい人」

金(かね)を食・う
費用がかさむ。「―・う難工事」

金(かね)を寝か・す
金銭を活用せず、ためておく。「ただ―・しておくのはもったいない」

金(かね)を回・す
① 必要とするところへ金を貸したり、与えたりする。「友人から―・してもらう」
② 利潤をあげるために、金を投資する。

か - のう【過納】
［名］(スル)
決められた金額よりも多く納めること。「料金を―する」

蚊(か)の鳴くような声
蚊の羽音のように、かすかで弱々しい声。「きまり悪そうに―で話す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

か - ひ【可否】
① よいかよくないか。事のよしあし。「―を論じる」「―を決定しかねる」
② 賛成と不賛成。可決と否決。「―相半ばする」

か - び【華美】
［名・形動］
はなやかで美しいこと。また、はなやかすぎて不相応なこと。また、そのさま。「―を極める」「―な服装」

黴(かび)が生・える
物に黴ができる。転じて、時代遅れになる。「―・えた思想」

か - ふう【家風】
その家に特有の気風・習慣。その家の流儀や作法など。「―に合わない」

過不及(かふきゅう)な・い
適度である。ちょうどよい。

頭(かぶり)を振・る
頭を左右に振って否定・不承知の意を表す。「―・って引き受けない」

か - ぶん【寡聞】
見聞が狭く浅いこと。謙遜していうときの語。「―にして存じません」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

雷(かみなり)に打(う)たれたよう
強い驚きや感動などを受けるさま。「―な衝撃」

可(か)もなく不可もなし
《「後漢書」光武紀から》
特によくもなく、また、悪くもない。普通である。

か - よく【寡欲】
［名・形動］
欲が少ないこと。また、そのさま。「―な（の）人」

空足(からあし)を踏(ふ)・む
① 階段の上り下りで、高さを間違えて足が空(くう)を踏む。
② 勢い余って止まれずに、二、三歩前に出る。

から - おくり【空送り】
［名］(スル)
録音・再生などをしないで、テープを回すこと。「選曲のために―する」

から - が・る【辛がる】
［動ラ五（四)］
辛いというようすをする。「唐辛子を食べて―・る」

から - くじ【空籤】
くじ引きで、何も当たらないくじ。はずれのくじ。「―なし」「宝くじ？　いいえ、多―です」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

から - げんき【空元気】
うわべだけ元気よく見せること。また、見せかけの元気。「―を出す」

から - さわぎ【空騒ぎ】
［名］（スル）
たいしたことではないのに、やたらに騒ぎたてること。また、騒いだわりに実りのないこと。「マスコミの―に終わる」

からすのぬれば - いろ【烏の濡れ羽色】
水にぬれた烏の羽のように、黒くてつやつやした色。烏羽色「髪は―」

から - せじ【空世辞】
誠意のない、口先だけの世辞。そらせじ。「―を言う」

体（からだ）が空（あ）・く
仕事や用事が終わって暇になる。「―・いている人に頼む」

体（からだ）に障（さわ）・る
からだに悪い影響をおよぼす。健康の害になる。「無理をしては―・る」

体（からだ）を惜し・む
働くのを嫌う。ほね惜しみをする。怠ける。「―・まずよく働く」

体（からだ）を粉（こ）に・する
力の限り働く。身を粉にする。「―・して店のために働く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

から - ねんぶつ【空念仏】
① 信仰心からでなく、口先だけで唱える念仏。
② 実行の伴わない口先だけの主張や宣伝。「彼の約束はいつも―に終わる」

から - ぶき【乾拭き】
［名］（スル）
床板や家具などを、汚れを落としたり光沢を出したりするために、乾いた布でふくこと。つやぶき。「柱を―する」

から - へた【空下 - 手】
［名・形動］
この上もなくへたなこと。まったくへたなこと。また、そのさま。からっぺた。「―だから人前では歌えない」

から - へんじ【空返事】
人の話をしっかり聞かないで、いいかげんにする返事。うわべだけの返事。

から - やくそく【空約束】
約束を守らないこと。また、守られなかった約束。そらやくそく。

かり - あ・げる【借（り）上げる】
［動ガ下一］［文］かりあ・ぐ［ガ下二］
政府や目上の者が、民間や目下の者から借りる。「民有地を―・げる」⇔貸し下げる。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かり - あつ・める【駆（り）集める】
［動マ下一］［文］かりあつ・む［マ下二］
方々から急いで多くの人数を集める。「手伝いの人を―・める」

かり - き・る【借（り）切る】
［動ラ五（四）］
① 乗り物や場所などを専用できる形で、一定期間を通して借りる。「レストランを―・ってパーティーを開く」⇔貸し切る。
② 借りられるものをすべて借りる。「限度額いっぱい金を―・る」⇔貸し切る。

かり - ごしらえ【仮拵え】
［名］（スル）
間に合わせとして仮に作ること。また、そのもの。「―の会場」

か - りゅう【渦流】
渦巻く流れ。「時代の―に身を置く」

か - りゅう【顆粒】
小さなつぶになっているもの。「―状の胃腸薬」

か - りょう【過量】
量が多すぎること。基準よりも分量が多いこと。「薬剤の―投与」

枯(か)れ木(き)も山(やま)の賑(にぎ)わい
《枯れ木も山に風情を添えるのに役立つ意から》
つまらないものでも、ないよりはましであることのたとえ。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かん - か【看過】
［名］（スル）
あることを目にしていながら、そのままほうっておくこと。見逃すこと。「―することのできない問題だ」

かん - かい【感懐】
ある事柄に接して心に抱く思い。「―を述べる」

かんがえ - あわ・せる【考え合（わ）せる】
［動サ下一］［文］かんがへあは・す［サ下二］
他の物事と比べたり結びつけたりして検討する。「双方の事情を―・せて結論を出そう」

かんがえ - ぶか・い【考え深い】
［形］
深く考えをめぐらすさま。思慮深い。「―・い目つき」

かん - きゅう【感泣】
［名］（スル）
感激のあまりに泣くこと。「師恩の深さに―する」

かん - く【寒苦】
寒さによる苦しみ。凍えるような寒さ。「―に責められる」

かん - けい【奸計】
悪いはかりごと。悪だくみ。「―をめぐらす」「敵の―に陥る」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かんけつ - てき【間欠的】
［形動］
一定の時間を置いて起こったりやんだりするさま。「―に痛みが走る」

かん - けん【管見】
《細い管（くだ）を通して見る意》
① 狭い見識。視野の狭い考え方。「―にとらわれる」
② 自分の知識・見解・意見をへりくだっていう語。

かん - げき【間隙】
① 物と物との、あいだ。空間的・時間的すきま。「人込みの―を縫って進む」「ディフェンスの―を突かれる」
② 人間関係の隔たり。不和。「二人の間に―を生じる」

かん - げき【観劇】
［名］（スル）
演劇を見ること。「団体で―する」「―会」

かん - げん【甘言】
人の気に入るような口先だけのうまい言葉。甘辞。「―につられる」「―を弄（ろう）する」

かん - こ【乾枯】
人の言説などが味わいに欠けること。「理屈っぽくて―に過ぎる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かん - こ【喚呼】
［名］（スル）
大声で呼ぶこと。また、その声。「信号を―して確認する」

かん - こ【歓呼】
［名］（スル）
喜んで、大きな声を上げること。「―の声」「―して迎える」

かん - こう【完工】
［名］（スル）
工事が完了すること。竣工（しゅんこう）。「ダムがようやく―した」

かん - こう【敢行】
［名］（スル）
悪条件を押し切って行うこと。無理を承知で思い切って行うこと。「大陸横断を―する」

閑古鳥（かんこどり）が鳴・く
人の訪れがなく、ひっそりと静まり返っているさま。客が来なくて商売がはやらないさま。「不景気で、店に―・いている」

かんさつ - がん【観察眼】
物事を観察する能力。「―を養う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かん - さん【閑散】
［名・形動］（「と」を伴った形で副詞的にも用いる）
① ひっそりと静まりかえっていること。また、そのさま。「平日の―とした遊園地」
② 仕事がなくて暇なこと。また、そのさま。「―な日を送りかねて」
③ 売買・取引などが少ないこと。また、そのさま。「不景気で―な市況」

かん - し【諫止】
［名］（スル）
いさめて思いとどまらせること。「暴挙を―する」

かん - し【環視】
［名］（スル）
大勢が周りを取り囲んで見ること。「―環視の中」

かん - しょう【勧奨】
［名］（スル）
そのことをするようすすめ励ますこと。「貯蓄を―する」「退職―」

かん - しょく【閑職】
仕事の暇な職務。重要でない職務。「―にまわされる」

かん - しん【寒心】
［名］（スル）
恐れや不安の念で、ぞっとすること。「―に堪えない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かんしん - じ【関心事】
特に興味を引かれている事柄。「国民の最大の―」

歓心(かんしん)を買・う
人の気に入るように努める。人の機嫌をとる。「上役の―・う」

かんじ - い・る【感じ入る】
［動ラ五（四)］
すっかり感心する。「―・た顔で絵を眺めている」

感情(かんじょう)に走・る
理性を失い感情に従って行動する。「すぐにかっとなって―・ることの多い性格」

感情(かんじょう)を害・する
不愉快な気分になる。また、いやな思いをさせる。気分を悪くする。「あらぬ疑いをかけられてすっかり―・する」

かん - すい【冠水】
［名］（スル)
洪水などで田畑や作物が水をかぶること。「大水で田が―した」

かん - せい【閑静】
［形動］［文］［ナリ］
もの静かで、落ち着いたさま。「―な町並み」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かん - ぜつ【冠絶】
［名］（スル）
群を抜いてすぐれていること。「世界に―する偉業」

かん - ぜん【敢然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
困難や危険を伴うことは覚悟のうえで、思い切って行うさま。「―と難局に立ち向かう」

間然（かんぜん）する所がな・い
非難すべき点が一つもない。「理路整然として―・い」

かん - そう【歓送】
［名］（スル）
その人の出発を喜び、励まして送ること。「―会」

肝胆（かんたん）相照ら・す
互いに心の底まで打ち明けて親しくつきあう。「彼とは―・す仲だ」

肝胆（かんたん）を砕（くだ）・く
懸命に物事を行う。心を尽くす。「会社を再建すべく―・く」

かん - だん【間断】
とぎれること。絶え間。切れ目。多く「間断なく」の形で用いる。「―なくわき出る水」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かん - だん【閑談】
［名］（スル）
① のんびりと静かに話をすること。閑語。「―して時を過ごす」
② 気楽な雑談。むだばなし。閑話。「―に興じる」

かん - だん【歓談】
［名］（スル）
打ち解けて親しく語り合うこと。「友人と―する」

かん - ち【関知】
［名］（スル）
あることに関係し、それについて知っていること。あずかり知ること。「私生活にはいっさい―しない」

噛(か)んで吐き出すよう
不愉快そうに、ぶっきらぼうに物を言うさま。「そっぽを向いて―に答える」

噛(か)んで含(ふく)・める
① 親が、食物をかんで柔らかくして子供の口に含ませてやる。
② よく理解できるように丁寧に言い聞かせる。「―・めるような説明」

勘所(かんどころ)を押さ・える
物事の肝心な点をしっかりとらえる。「話の―・えた質問」

感(かん)に堪(た)え◦ない
非常に感動して、それを表に出さずにはいられない。「―◦ないという面持ち」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かんねん - てき【観念的】
［形動］
具体的事実に基づかずに頭の中で組み立てられただけで、現実に即していないさま。「―でわかりにくい映画」

看板（かんばん）が泣・く
それまでの評判にふさわしくない状態である。「いいかげんな仕事をしたら―・くよ」

かんばん - だおれ【看板倒れ】
見せかけだけで、内容がそれに伴わないこと。「計画が大きすぎて―になる」

看板（かんばん）を下ろ・す
① 一日の営業を終えて店を閉める。「10 時には―・す」
② 廃業する。店をたたむ。
③ 掲げていた主義・主張などをとりやめる。「保守派の―・す」

かん - ぱい【完配】
［名］（スル）
配給する予定のものを、完全に配り終えること。「救護品を―する」

かん - ぼう【観望】
［名］（スル）
① 景色などを遠く広く見渡すこと。
② 事の成り行きをうかがい見ること。「周囲の形勢を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かん - まん【干満】
干潮と満潮。潮のみちひき。「―の差が大きい」

かん - みん官民】
官庁と民間。官吏と人民。「――一体の協力」

かん - もじ【閑文字】
無意味な文字・文章。無益な言葉。かんもんじ。「―を連ねただけの小説」

かん - やく【簡約】
［名・形動］（スル）
文章・話の内容などを手短に要領よくまとめること。また、そのさま。「初心者向けの―な仕様書」「名作を―した全集」

かん - よう【涵養】
［名］（スル）
水が自然に染み込むように、無理をしないでゆっくりと養い育てること。「読書力を―する」

かん - りゅう【貫流】
［名］（スル）
川などが貫いて流れること。「平野の中央を―する川」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

かん - りゅう【環流】
［名］（スル）
① めぐり流れること。また、その流れ。「血液が体内を―する」
② 大気や海水の地球規模の大きな流れ。
③ 一度流れ込んだものが、再び元に返っていくこと。「投下された外国資本が形を変えて故国に―する」

かん - るい【感涙】
深く感じて流す涙。感激・感謝のあまり流す涙。「―にむせぶ」

かん - れつ【寒烈】
［名・形動］
寒さがはげしいこと。また、そのさま。凜烈（りんれつ）。「―の気」「―な地方」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.